

## 特定事業主行動計画 実施状況等[令和3年度(2021年度)]

### 目標 育児参加率の向上

#### ◆育児休業取得率

R2実績	R3実績	目標値(R7)	達成状況
男性33%	男性0%	男性30%	未達成
女性100%	女性100%	女性100%	達成

#### 実施内容、今後の課題等

男性：育児休業取得対象者3人 取得者0人

女性：育児休業取得者3人(R3年度以前から継続)

母性保護及び母性健康管理の観点から設けられている特別休暇等の制度について周知徹底をはかっていく。

特に男性職員の育児休業等の取得促進について、資料を通知・配布し、制度の周知徹底をはかる。

育児休業等の取得について、職場全体及び部署内の意識改革を進め、取得しやすい雰囲気を醸成する。

引き続き、妊娠中及び出産後について、深夜勤務や時間外勤務を原則として命じないこととする配慮をしていく。

#### ◆配偶者出産休暇・育児参加休暇の取得率

R2実績	R3実績	目標値(R7)	達成状況
男性100%	男性100%	男性100%	達成

#### 実施内容、今後の課題等

休暇取得対象者3人

配偶者出産休暇 2人取得 4日

育児参加休暇 1人取得 4日

子育ての始まりの時期に親子の時間を大切に、子どもを持つことに対する喜びを実感するとともに、出産後の妻を支援するため、妻の出産並びに産後期間中の育児参加休暇及び育児休業等の取得促進について周知徹底をはかっていく。

### 目標 女性職員が活躍する機会の向上

#### ◆女性職員の割合

R2実績	R3実績	目標値(R7)	達成状況
全体48.9%	全体47.8%	全体50%	努力
採用者42.9%	採用者33.3%	採用者50%	努力

#### 実施内容、今後の課題等

全体：43人／90人

2021年4月1日現在 新規採用3人

事務職員 2人(うち女性0人)／保育士 1人(うち女性1人)

女性職員の活躍推進や仕事と生活の調和の推進に向けた意識啓発を行っていく。

引き続き、女性職員の育児などの状況に配慮した人事運用を実施していく。

#### ◆女性管理職の割合

R2実績	R3実績	目標値(R7)	達成状況
40%(6人／15人)	33.30%	40%	努力

#### 実施内容、今後の課題等

5人／15人(保育士含む)

【参考】一般事務職員(保育士を除く)における管理職等

課長職 11人(うち女性1人)／課長補佐職 2人(男性のみ)／係長職 20人(うち女性11人)

## 目標 時間外勤務の縮減

### ◆年間の平均時間外勤務時間(管理職を除く)

R2実績	R3実績	目標値(R7)	達成状況
72.5時間	164.6時間	60時間	努力
実施内容、今後の課題等			
<p>※コロナ事務・選挙事務を除くと平均101.7時間                      定時退庁については、一斉放送の定着化により認知度は高くなっているが、定時退庁は定着していない。引き続き呼びかけを行う。</p> <p>職員意識に一部形骸化がみられ、一定部署に時間外勤務が多い傾向は解消されていない。</p> <p>管理職員は、所属職員の勤務状況を的確に把握し、勤務時間管理の徹底(人事院指針:年間360時間を超えないように努める。)をはかり、人事担当課は時間外勤務の状況を定期的に把握し、時間外勤務の多い職場の健康管理を行うとともに、管理職員からヒアリング等を実施し、縮減のための意識啓発を行う。</p> <p>年間360時間以上:8人 1位 646時間(建設水道課)/2位 625時間(総務課)/3位 559時間(建設水道課)                      DX等による業務改善の推進をはかる。</p>			

### ◆時間外勤務時間の上限を超えた職員数

R2実績	R3実績	目標値(R7)	達成状況
延べ5人	延べ39人	延べ3人	努力
実施内容、今後の課題等			
<p>他律的業務2課(コロナ事務・選挙事務)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選挙事務(総務課)8月～11月 延べ9人 694時間</li> <li>・コロナ事務(保健こども課)5月～7月 延べ8人 516時間</li> </ul>			

## 目標 年次有給休暇取得率の向上

※この目標の実績に限り、年度ではなく  
 暦年で算出しています。

### ◆年次休暇(20日以上付与の職員)の平均取得日数

R2実績	R3実績	目標値(R7)	達成状況
7.2日	9.14日	10日	努力
実施内容、今後の課題等			
<p>10以上取得27人 32.14%</p> <p>管理職員は定期的に所属職員の年次休暇の取得状況を把握し、取得しやすい環境づくりに努めていく。                      国民の祝日や夏季休暇とあわせた年次休暇の取得促進について、業務との均衡をみて実施を推進していく。                      子どもの予防接種・健診の実施時期や授業参観日における年次休暇の取得促進をはかっていく。</p>			

### ◆取得日数が5日未満の職員割合

R2実績	R3実績	目標値(R7)	達成状況
31.10%	22.62%	15%	努力
実施内容、今後の課題等			
<p>19人が5日未満の取得</p> <p>【内訳】 ◇総務課4人、みらい安心課3人、税務住民課1人、保健こども課2人、長寿福祉課1人、産業振興課1人、教育委員会3人、議会事務局1人、棚橋保育所2人、長原保育所1人                      ◇男12人、女7人                      ◇課長職級4人、保育所長級3人、補佐・係長級3人、主査・主事9人(うち2年目4人)                      ◇一般職13人、専門職6人</p>			

## 目標 ハラスメントに対する啓発活動

### ◆研修や意識啓発の機会

R2実績	R3実績	目標値(R7)	達成状況
新型コロナウイルス感染症 対応で実施できず	1回	年1回以上	達成
実施内容、今後の課題等			
R3年中に、係長級に向けての研修を1回実施した。 ハラスメント事案等の報告は受けておらず、引き続きハラスメント防止のための意識啓発をはかっていく。			

## 目標 新たな働き方の推進

### ◆年間で在宅勤務を行った職員の割合

R2実績	R3実績	目標値(R7)	達成状況
6.7%(6人)	10.0%(9人)	15%	努力
実施内容、今後の課題等			
総務課3人(3回)、保健子ども課4人(78回)、教育委員会2人(6回) 延べ87回			

達成状況の種類: 達成・努力・未達成・変更

※この計画の対象者には、再任用職員や会計年度任用職員を含みますが、実績については、勤務条件や休暇制度等の違いにより、会計年度任用職員を含んでいません。